

セキュリティ・ネットワーク運用に課題を感じている、  
情報システム・セキュリティ・ネットワーク管理部門の  
責任者・担当者に聞いた！

**約半数が、統合管理による  
「専門人材不足の解消」に期待  
94.6%が、リモートワークやクラウド活用を  
進める上で統合管理を重要視**

ICT環境におけるセキュリティと  
ネットワーク統合管理に関する実態調査

---

# Research Outline

## 調査概要

### 調査名称

ICT環境におけるセキュリティとネットワーク統合管理に関する実態調査

### 調査方法

IDEATECHが提供するリサーチデータマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

### 調査期間

2025年7月2日～同年7月3日

### 有効回答

年商10億円以上の企業に勤務しており、  
セキュリティ・ネットワーク運用に課題を感じている、  
情報システム・セキュリティ・ネットワーク管理部門の責任者・担当者111名

※合計を100%とするため、一部の数値について端数の処理を行っております。  
そのため、実際の計算値とは若干の差異が生じる場合がございます。

# はじめに

クラウドサービスの活用が加速し、リモートワークも常態化する中、企業のICT環境は急速に広がり複雑さを増しています。業務アプリケーションやデータのクラウド移行が進む一方で、アクセス経路は拠点・自宅・外出先・モバイルなど多様化し、かつてのように「社内ネットワークを守ればよい」という考え方は通用しなくなっています。

こうした状況の中で、多くの企業ではネットワークとセキュリティの運用管理を、それぞれ別の部門・別のベンダーで個別に担う体制を続けています。しかしこの分断管理体制では、全体の可視性や整合性が失われ、インシデント対応が遅れる、設定ミスが起きやすい、運用負荷が増大するといった課題が頻発しています。さらに、複雑化する構成に対応できる高度な人材の確保も難しく、現場のリソース不足が慢性化しています。

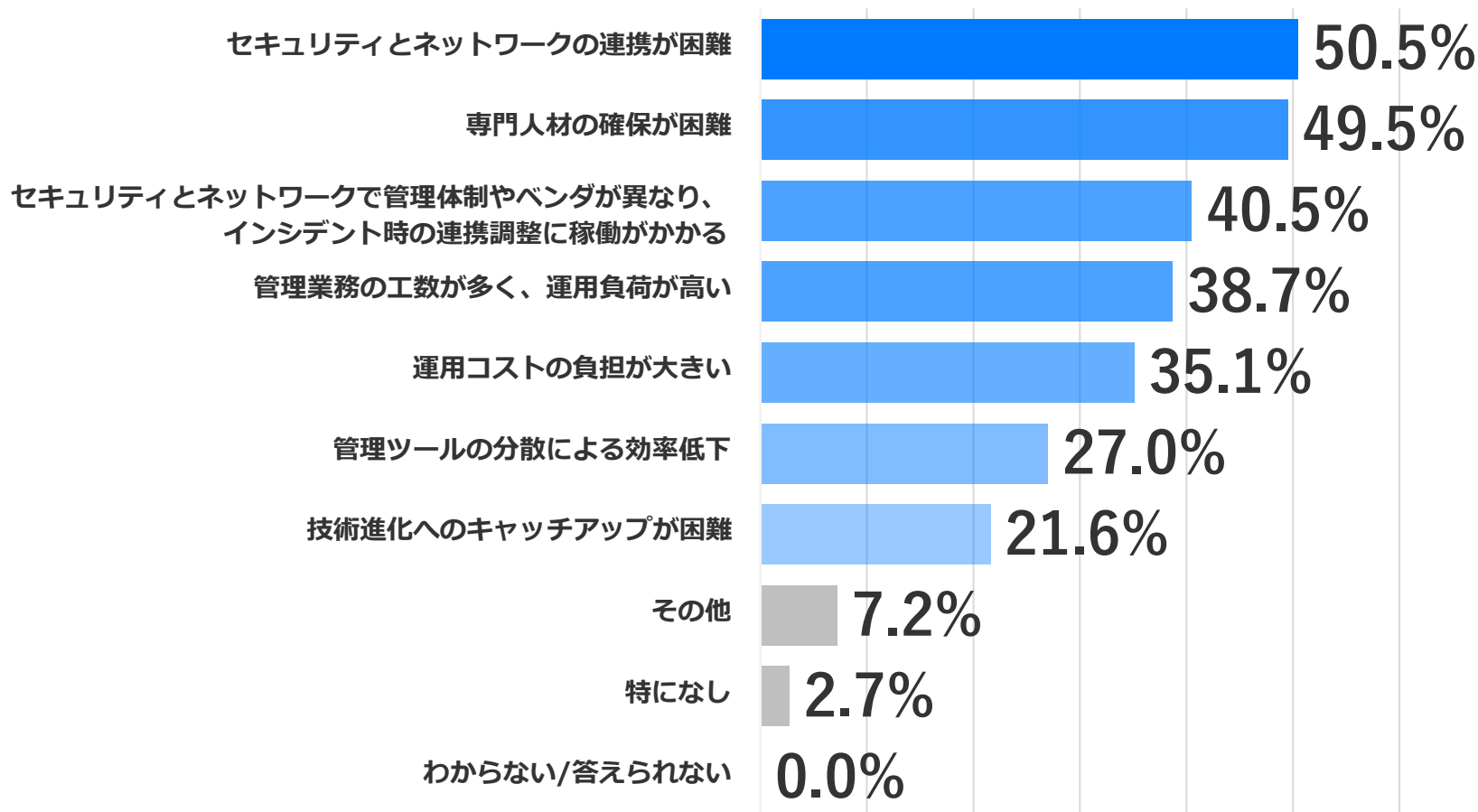
こうした背景を受けて注目されているのが、「NaaS（Network as a Service）」に代表される、ネットワークとセキュリティを統合的にサービスとして提供するモデルです。NaaSでは、ネットワーク基盤そのものを柔軟かつ迅速に構築・変更・拡張できるだけでなく、セキュリティ対策やアクセス制御、可視化・監視といった機能も一体的に管理可能となるため、従来の煩雑な運用体制を大きく転換する手段として期待が高まっています。

企業のICTインフラは今、個別最適の寄せ集めから、全体最適の統合管理へと進化すべきタイミングを迎えていかかもしれません。



# Q1

あなたのお勤め先で、現在ICT環境におけるセキュリティ管理とネットワーク管理の運用について感じている課題を教えてください。  
(複数回答)



ICT環境のセキュリティ管理/ネットワーク管理の運用について、50.5%が「セキュリティとネットワークの連携が困難」と感じています。

## Q2

※Q1で「特になし」「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

**Q1で回答した以外に、ICT環境におけるセキュリティ管理・ネットワーク管理で感じている課題があれば、自由に教えてください。  
(自由回答)**

- 思ったような予算が得られない。
- 個人情報の漏洩など。
- 費用対効果の分析が難しい。
- 各システムがオンプレとクラウドで分散しており、足並み揃えての対応が難しい。
- 管理の自動化が出来ていない。
- システムの構築と連携に時間がかかる
- 悪意のある攻撃だけでなく、無意識の社員の誤操作などまで含めて考えなければいけない。

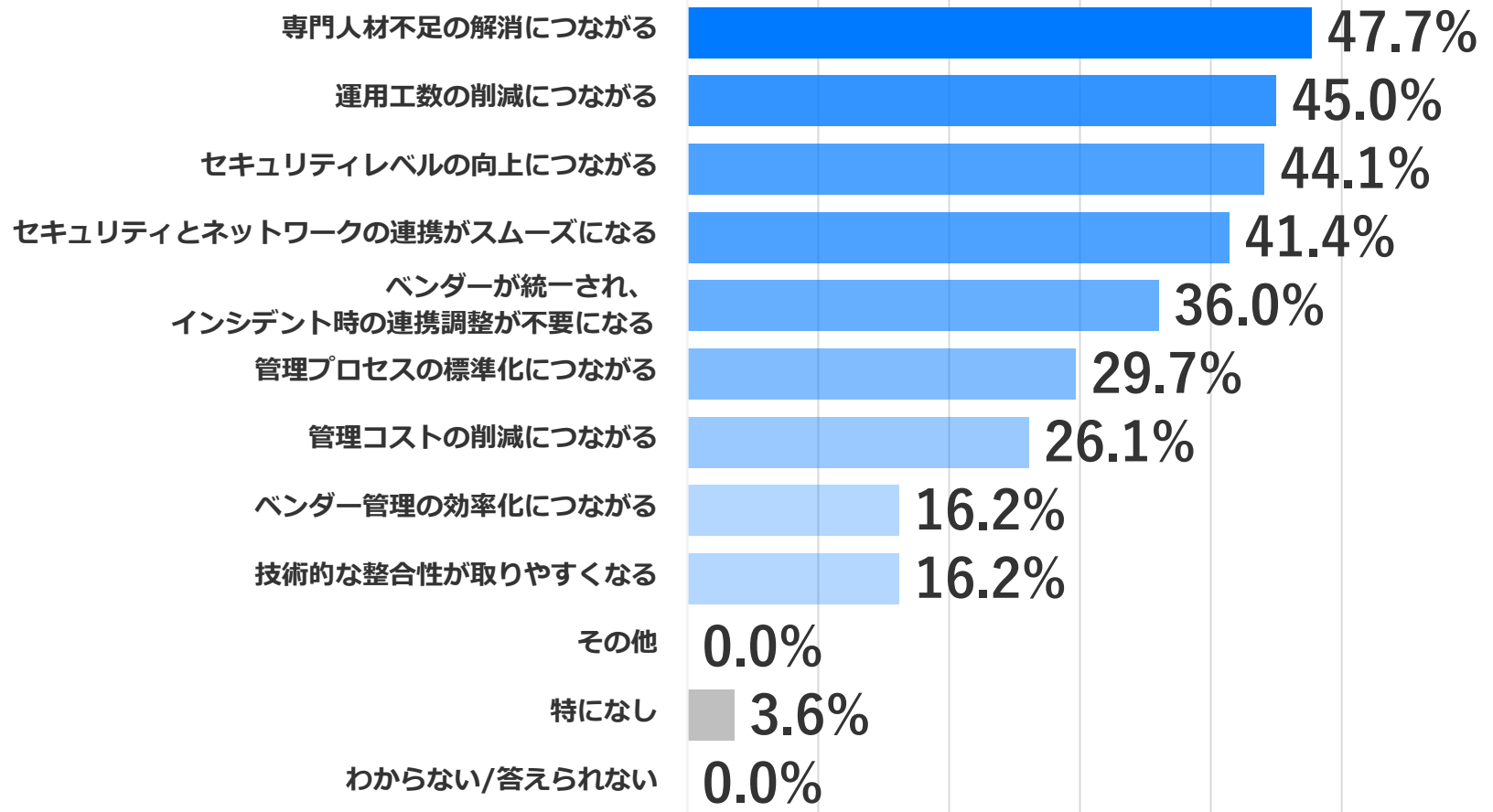
調査期間：2025年7月2日～同年7月3日

ICT環境におけるセキュリティとネットワーク統合管理に関する実態調査

n= 108 (回答者：49名)

### Q3

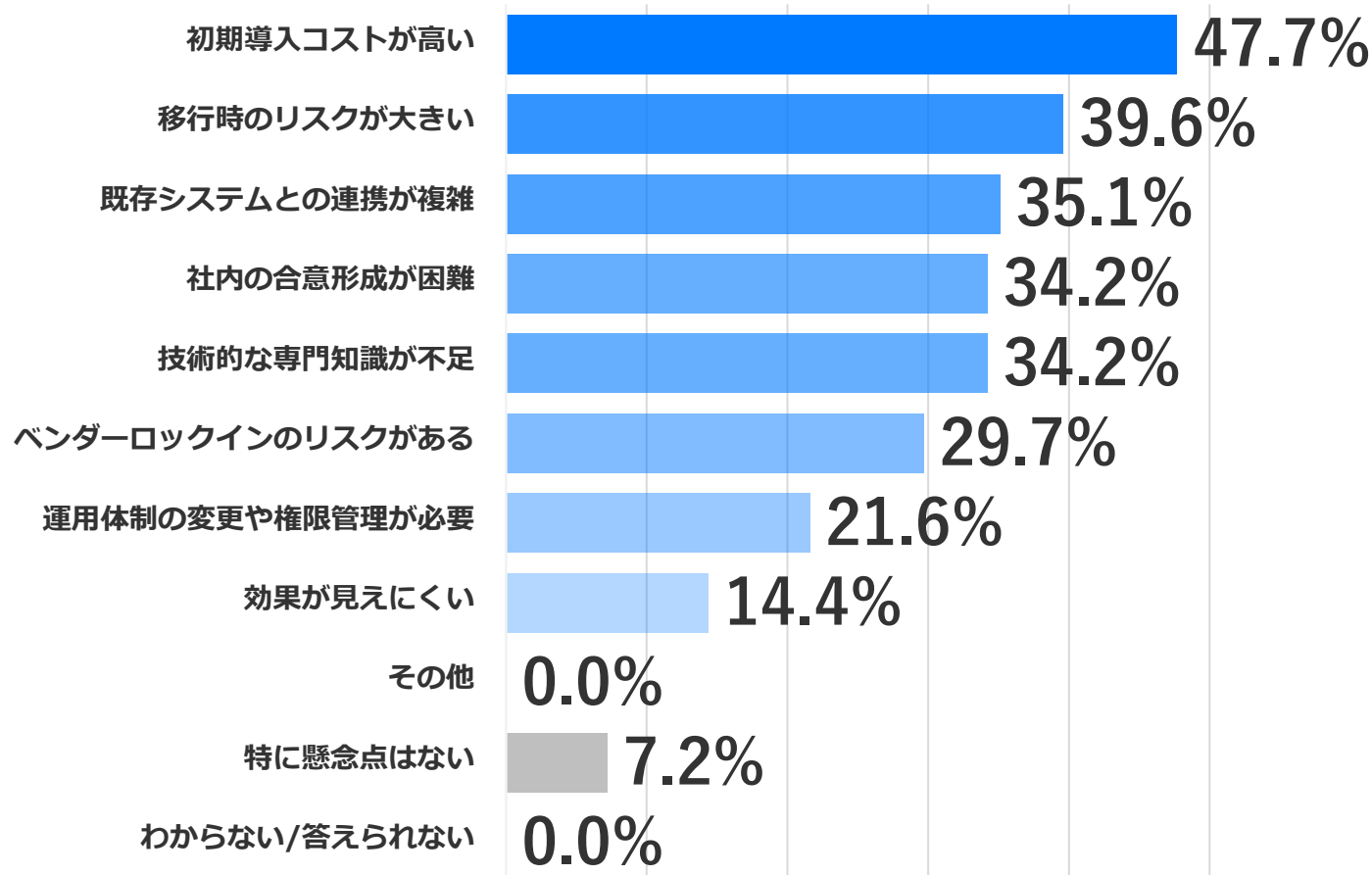
あなたのお勤め先では、ICT環境におけるセキュリティ管理とネットワーク管理を統合することで、どのようなメリットがあると思いますか。（複数回答）



セキュリティ管理/ネットワーク管理の統合によるメリットとして、「専門人材不足の解消」や「運用工数の削減」が挙げられました。

## Q4

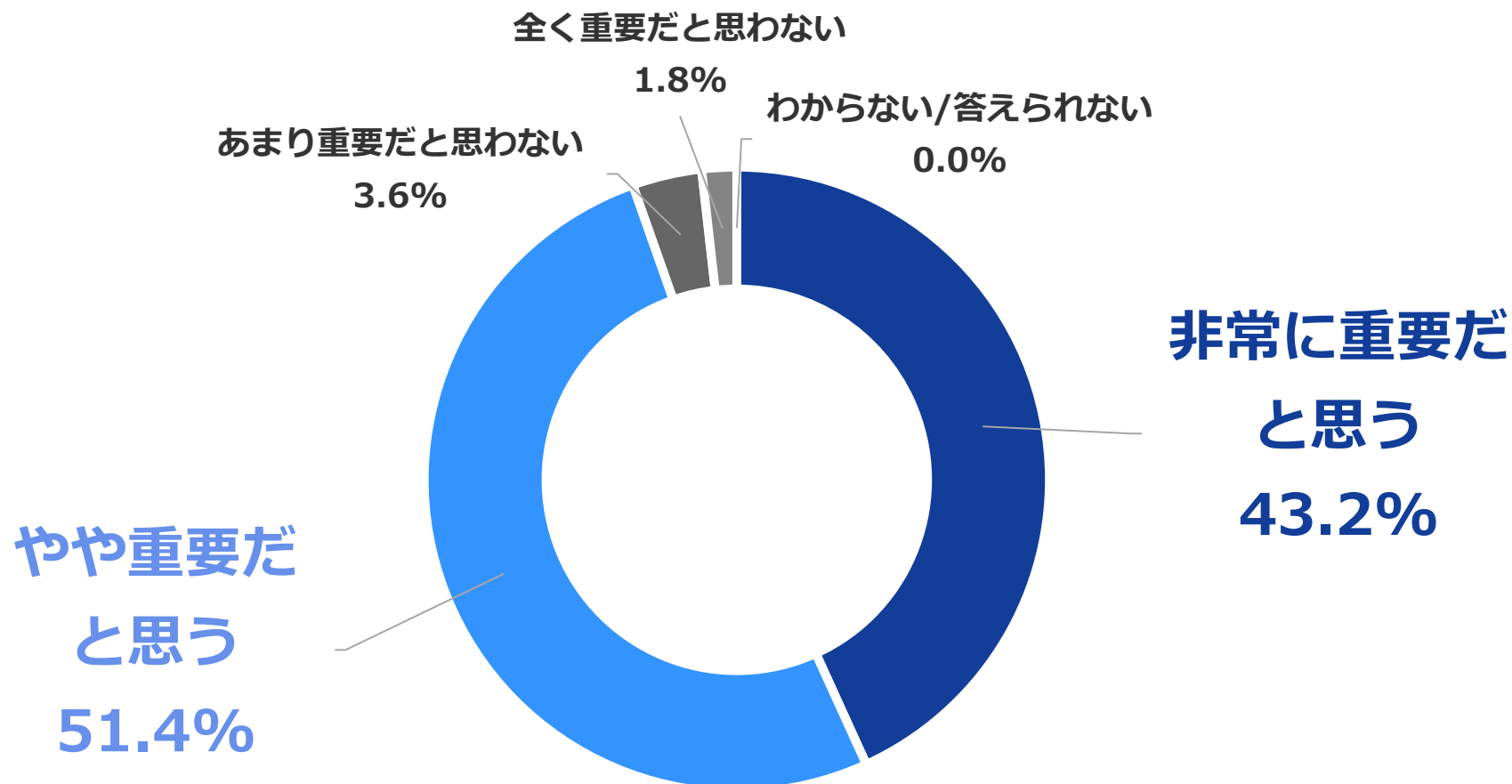
あなたのお勤め先で、ICT環境におけるセキュリティ管理とネットワーク管理の統合を検討する際の懸念点や障壁を教えてください。（複数回答）



ICT環境のセキュリティ管理/ネットワーク管理統合の懸念点では、「初期導入コストの高さ」が47.7%で最多となりました。

## Q5

あなたは、リモートワークやクラウド活用を進める上で、ICT環境におけるセキュリティとネットワークの統合管理がどの程度重要だと思いますか。

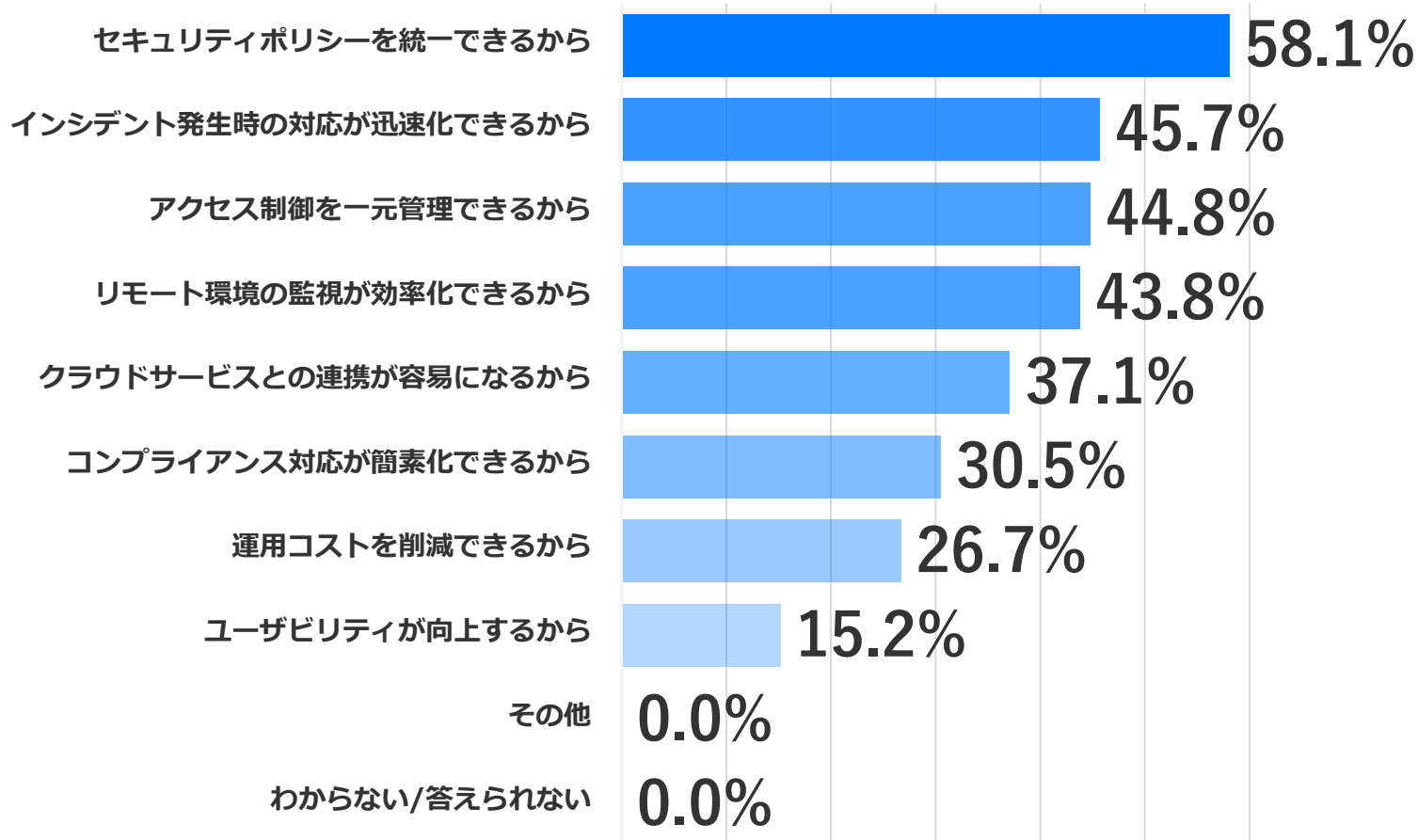


94.6%が、リモートワークやクラウド活用を進める上で「セキュリティとネットワークの統合管理は重要」と認識しています。

## Q6

※Q5で「非常に重要だと思う」「やや重要だと思う」と回答した方に質問

### リモートワーク・クラウド活用を進める上で統合管理が重要だと思う理由を教えてください。（複数回答）



統合管理が重要な理由について、約6割が、「セキュリティポリシーを統一できるから」と回答しました。

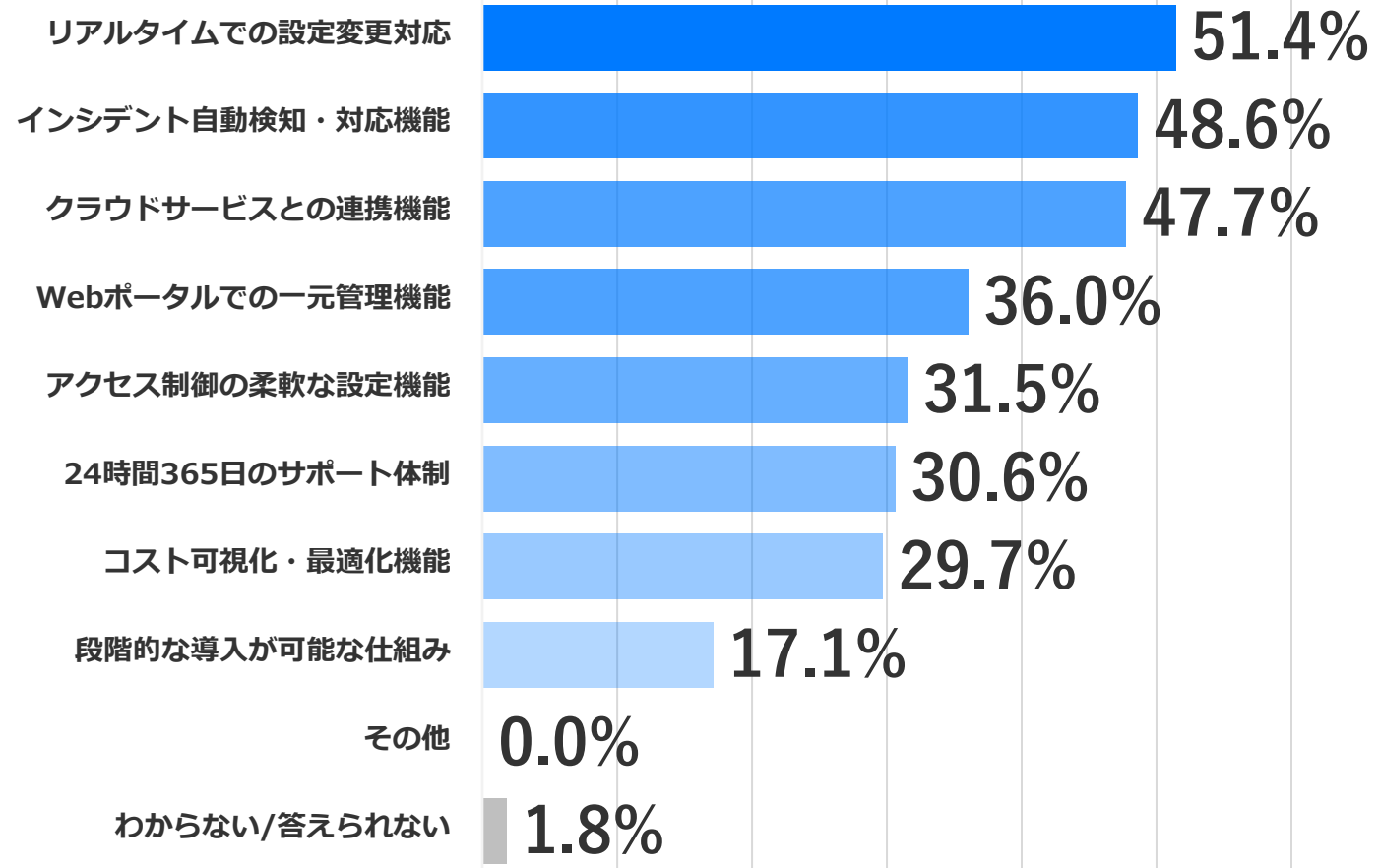
調査期間：2025年7月2日～同年7月3日

ICT環境におけるセキュリティとネットワーク統合管理に関する実態調査

n=105

# Q7

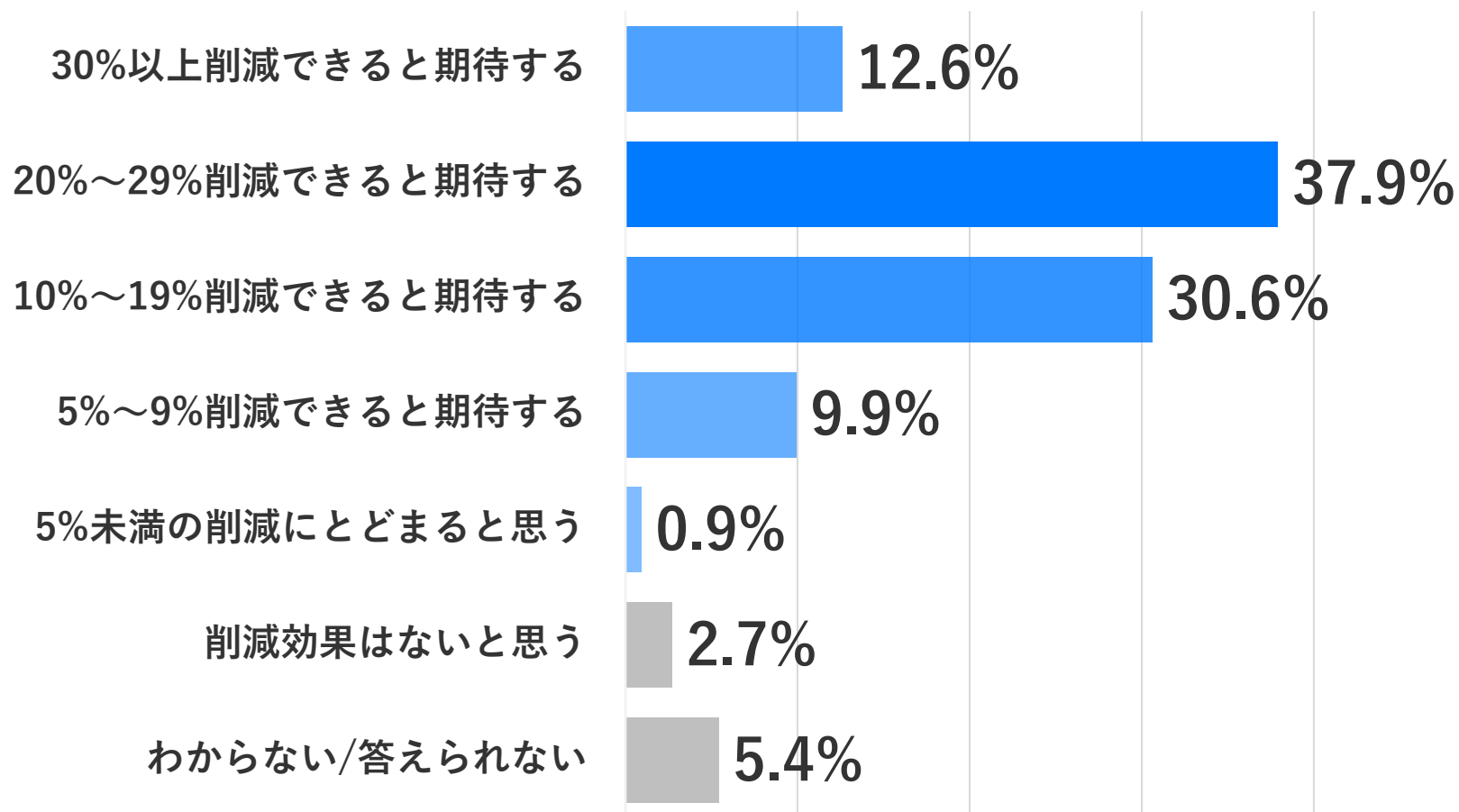
あなたのお勤め先では、ICT環境におけるセキュリティ・ネットワーク統合管理サービスを導入する場合、どのような機能を最も重視しますか。（複数回答）



セキュリティ・ネットワーク統合管理サービスの導入にあたり、「リアルタイムでの設定変更」や「インシデント自動検知/対応」を重視しています。

## Q8

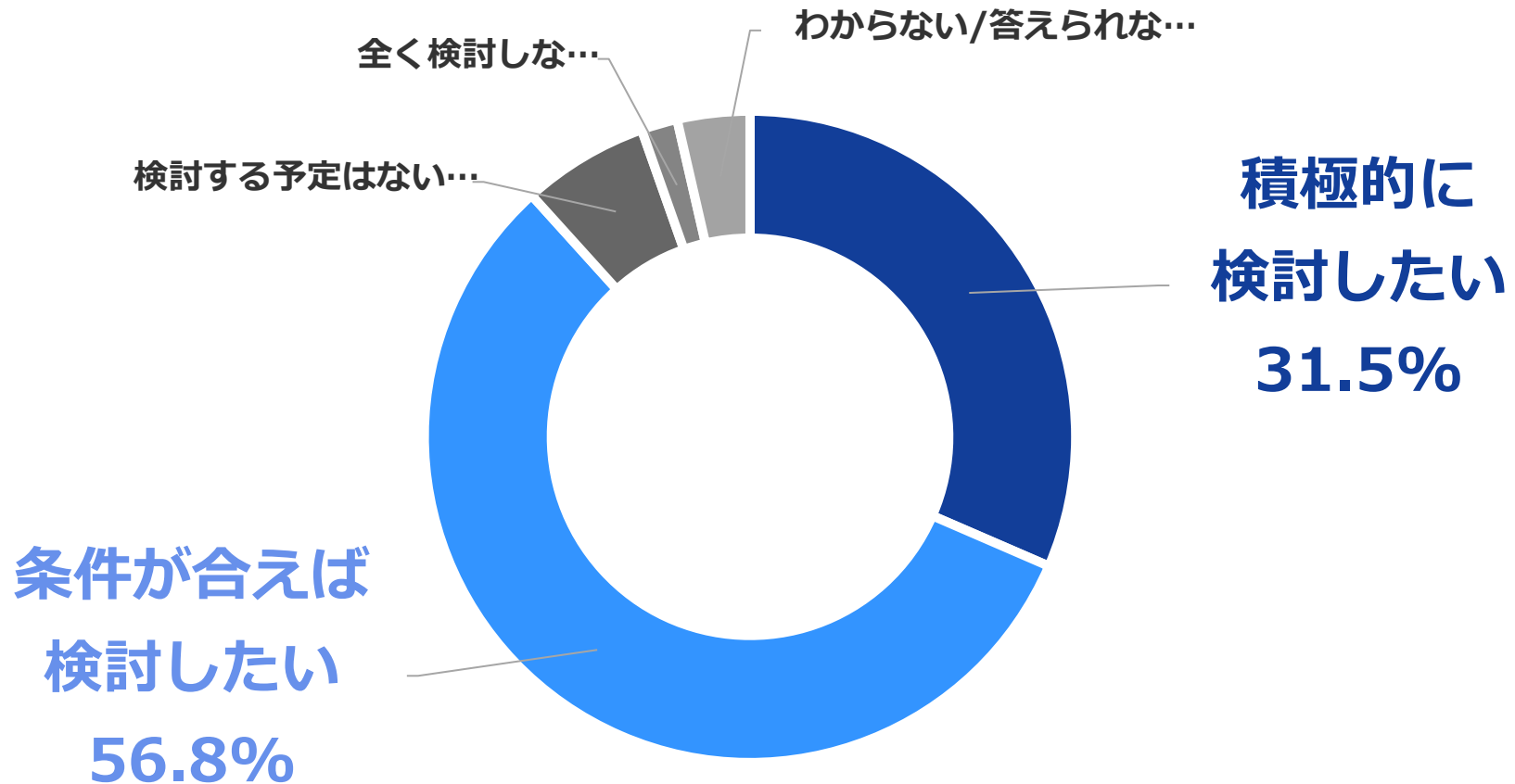
あなたは、ICT環境におけるセキュリティとネットワークの統合管理によって、現在の運用コストがどの程度削減できると期待しますか。



半数以上が、セキュリティとネットワークの統合管理により「運用コストを20%以上削減できる」と期待しています。

## Q9

あなたのお勤め先では、今後1年～2年以内にICT環境におけるセキュリティ・ネットワーク統合管理サービスの導入を検討する可能性はありますか。



約9割が、ICT環境におけるセキュリティ・ネットワーク統合管理サービスの導入を検討していることがわかりました。

## まとめ (Conclusion)

本調査を通じて、ICT環境におけるセキュリティとネットワークの統合管理が、企業にとって極めて重要な課題であることが明らかとなりました。

多くの企業が現在、「セキュリティとネットワークの分断管理」による非効率やリスクに直面しており、それに対する有効な解決策として統合管理を高く評価しています。実際、統合による「専門人材不足の解消」や「運用工数・コストの削減」への期待は非常に大きく、導入意欲も高まっています。

一方で、導入にあたっては初期コストやシステム移行のリスクなどの懸念も根強く、成功には適切なパートナー選定や段階的な導入が重要と考えられます。

企業がリモートワークやクラウド活用を加速させるなかで、セキュリティとネットワークを「一体でとらえる視点」が求められています。

これからのICT戦略では、統合管理を前提とした運用体制の再構築こそが、運用効率の向上とセキュリティレベルの最適化を両立させるカギとなるでしょう。



# 企業ICTインフラの 複雑化に終止符を!!

ネットワークとセキュリティを統合する  
「docomo business RINK®」という新たな選択

詳しくはこちら <https://www.ntt.com/business/services/rink.html>



## クラウド活用、働き方の多様化、巧妙化するサイバー攻撃。

企業のICT環境は日々複雑さを増しています。

こうしたなか、「docomo business RINK® (リンク)」が注目を集めています。

ネットワークとセキュリティを**一体で運用できる統合型プラットフォーム**として、

**運用の効率化とセキュリティ強化の両立**を実現します。

増え続ける運用負担に終止符をSaaSやクラウドの拡大により、

● 拠点間 ● クラウド接続 ● リモートアクセス

など通信は多様化。

加えて、セキュリティはバラバラに導入され、運用負担は増す一方です。

「システムはあるが全体が見えない」「担当者しかわからず、障害時に困る」といった声も。

**こうした“分断されたICT運用”を統合し、根本から変革します。**

## 必要な機能を、必要な分だけ

ネットワーク利用状況、脅威の検知、端末ごとの接続ログ、違反アラートなど、すべての情報を1画面で可視化。直感的なUIで、属人化を防ぎ、運用の標準化も実現します。

## 中小企業から大企業、公共機関へと導入拡大中

すでにIT専任者がいない中堅企業、全国に拠点を持つ大企業などで導入が進んでいます。

今後は、教育・医療・自治体など、安心と即応性が求められる現場でも導入が期待されています。